

障がいと教育

重度障がい者社会支援フォーラム

基調講演・パネリスト



遠藤利彦氏 東京大学大学院教授

専門は発達心理学・感情心理学。

アタッチメント（親子・家族間の心の安定感）と子どもの社会情緒的発達との関連性を主に研究。赤ちゃんが特別な愛着を示す毛布、タオル、ぬいぐるみ等の研究がきっかけでこの世界に入る。

主著『赤ちゃんの発達とアタッチメント』（ひとなる書房）他

2020 11/28 土 13:45 開演 (16:30 終了)

①基調講演 14:00~15:00 生涯発達の礎をなすアタッチメント

②パネルディスカッション 15:10~16:30 アタッチメントから生まれる「かべ」がない社会

ZoomとYoutubeで同時配信【Zoom 80名募集 YouTube 無制限(どなたでも視聴できます)】

パネルディスカッション・パネリスト

是枝喜代治氏（東洋大学教授）



特別支援学校教員の後、国立特別支援教育総合研究所等の勤務を経て現職。現大学では「障害者福祉論」「特別支援教育基礎論」等の科目を担当。

石原次郎氏（東洋大学教授）



教育の現場で、学生との双方向授業、出欠・試験・成績評価等を行わず、個の成熟と自主性を伸ばすことを目的とし自由教育の徹底した実践を試みている。

ファシリテーター 木村直人氏



文部科学省入省後、内閣参事官、初等中等教育局参事官等を歴任し、現在は量子科学技術研究開発機構に勤務。障がい者も含め、だれもが幸せに生きていく社会を作るには自分たちが何をしたらいいか考える「ともにいきる(ともいき)」シリーズ開催。

▼申込みはこちらから

<https://aitunag.com/>

参加
無料



問い合わせ▶ contact@aitunag.com



主催 重度障がい者社会支援フォーラム実行委員会

共催 一般社団法人グリーンノート/立教大学教育学科

科研費研究、学術新領域「トランスカルチャー状況下における顔身体学の構築

後援 文部科学省/厚生労働省/埼玉県/埼玉県教育委員会